

防
諜

高岡商工會議所

高岡産業案内

特248
969
十七年刊行



始



特248
969

昭和十七年刊行



高岡産業案内

高岡商工會議所





高岡産業案内目次

會社一覽

諸業體別資本金

合資株式

有限公司

會社

合資會社

有限公司

會社

合資會社

有限公司

會社

重貨物通農手銀戶	九、八、七、六、五、四、三、二、一、
要工產形產物檢查支	官交商衙舊學校
物金價信所	高商會議所
物高行	通、運輸
金信所	及地勢
價行	戶口
信所	革業
所	業
六二三	三三
三二〇	二〇
二一七	一七

組合一覽

申準同產工工商	支有合株
合則業業業	會社
組組組組組	會社
合合合合合	會社
六五五五五	三三三三三

高岡産業案内

一 沿革

革

龍田利長卿築城以前に於ける本市の状態に就ては文献の徵すべきもの甚だ少く正確を得難いが、諸書に散見する異説を綜

合して上古塞口の郷と稱し、中古に關野又は關野ヶ原と稱へ、又二上山下の二上ノ莊の一部であつたことが知らる。

爾來幾多の星霜を経て慶長十四年（紀元二二六九年）九月利長士臣四百三十名を從へて新城に移住し來られ、同時に工商

六百三十戸許は富山、守山、木舟の三城下から陸續移り來り、京師の街衢に倣ふて定められた町割によつて各其の居住を

占めてより、茲に初めて高岡の基礎を拓くに至つた。

慶長十九年五月利長卿享年五十三歳を以て高岡に薨去せられてより、間もなく高岡城は廢毀せられたるも附近守山又は木舟城の廢頃に拘らず、獨り高岡のみは衰亡することなく反て其の繁賑を増すのみであつた。

其の後金澤、小松と共に加賀藩の三城下を以て數へられ、明治四年金澤の管轄となり、同年七尾縣に改め、同五年更に新川縣と變り、同九年新川縣廢せられて石川縣に屬し、同十六年五月越中國一圓を以て富山縣と定められ、同二十二年四月に市制を施行せられ、大正六年五月十五日に掛開發村を、同十四年八月一日に下關村を、昭和三年六月一日に横田、西條村を、同七年十月一日佐野村木津の一部を、同八年八月一日二上村を、同十七年四月一日伏木町、能町村、野村、二塚村、佐野村、守山村の一町五ヶ村を市に編入して、大いに廣袤を擴張した、其間屢々祝融の災に罹り市街の大部烏有に歸し、又は諸川氾濫の厄に遭ひ慘憺の光景を呈せしことあるも、堅忍不屈の氣に富める市民は益々發奮興起する所あつて、能く文化の進展に伴ひ着々市街の規模を大にし、今や名實共に港灣都市として更に飛躍發展を期待されるに到つた。

二、面積及地勢

本市は富山縣射水、氷見、東礪波、西礪波四郡の中樞に位し、東經百三十七度二分、北緯三十六度四十五分、海拔八米二〇の所に在りて、其面積六二・八四平方糸、極東石瀬より極西北島間二二・七糸、極南二塚より極北伏木間三、〇・二糸に及ぶ。

地勢は庄川、小矢部川東西兩地域の間に介し、南に高く北に低く緩傾斜をなし北陸本街道に當り東南は遠く兩礪波の平野に連り、西方一帶は國吉を距て、西礪波、氷見郡の山地に續く、又市街の中央を千保川南北に貫流し市の北で小矢部川に合し、舟楫二糸餘にして伏木港に達する、北方は坦々開けて越中灣に臨み其距離漸く二糸を出でない。

三、市街及戸口

最近附近町村の編入によつて現在町數百五十七町を算す。

市の西端から東端に向つて北陸街道婉々市中を貫き、其の國道に沿ふ中心附近就中旅籠、通、御馬出、守山、木舟、小馬出、坂下、一番町通り、片原町通り、末廣、御旅屋の諸町は商業街として殷賑を極め又千保川畔から西部一帶、向野、伏木、吉久方面は工業地區として化學、金屬、捺染等の工業が盛である。

戸數人口は年々増加し昭和十七年四月一日現在左の通りである。

現在戸数	男	女	計
一八、六三三戸	四四、九五七人	四六、八四八人	九一、八〇五人
現在人口			

四、商業

前田利長卿高岡築城以來已に三百三十有餘年、幾たびか時勢の變遷を経過したが、藩政時代より千保川の水運を利用し礪波、射水兩平野を控制して伏木、六渡寺等の港灣に出入なし、殆んど全越中の通商航海の中心点たるが如く、古より商業を開け殊に木材、石材、綿なばに對しては藩主から種々の特權と保護を與へられ、其綿場の如きは維新後に到るまで旺盛を極めたもので、高岡米穀取引市場の前身をなしたものである、其他廻米又は川下げと稱し礪波川上、射水の産米を小矢部川の水運によつて、伏木港より遠く江戸、大阪にまで廻漕したる外、常に江戸、大阪は勿論北海の敵備と往復して商權を張り福井、石川、富山、新潟と北陸縣下に顎を唱ひ、高岡商人の名は歌はれ來つたこと實に久しく、商業發達の起因淺からざるものとす、今や通信、交通機關の完備と共に益々進展の途上にある。

五、工業

銅鐵器 本市の工業は藩主前田利長卿城地を定むるや先づ幾多の工業を興し、大いに獎勵保護を加へられたるに端を發し、本市商業の發達と相伴んで古き歴史を有するものとす、中でも工業發展の先驅をなしたるものは鐵鑄物で、利長卿在城中即ち慶長十六年（紀元二二七年）九月礪波郡西部金屋村に居住せる鑄物師金森、喜多、般若の姓を有するもの七名を高岡へ招致し、鑄物工場五ヶ所を建設開業せしめ、之に多大の優遇を與へて以來、茲に本市銅、鐵器工業の起因を爲したもので、其の後寶歷（約二百七十年前）頃から鐵器の外唐金鑄物、佛具、香爐の製作漸く盛となり、明治初年以來佛具、火鉢類の製產は益々旺盛となり、現今本邦に於ける唯一の特產地たるを得たのである。

漆器 銅、鐵器に次ぎ漆器工業も亦古き沿革を有し、明和、安永の頃には己に辻丹楓（丹甫と同一人ならんともいふ）の如き漆器彫鏤の名工現はれ、其後天保に至り板屋小右衛門（或は板小と略省す）石井勇介等の名匠相踵で出で漆器史上に異彩を放つもの少しとしない、之が爲に本市漆器中特に其の錫繪塗、勇介塗、彫刻などは獨特の雅趣妙技を存し、

今日尙世上に廣く賞揚せらるゝ所以である

捺染 明治末節の創設工業なるも美術的捺染として配色鮮麗、意匠優美なるにより當初の新毛斯捺染時代より輸出絹人絹時代を現出し既に高岡ハンドプリントの名の下に海外より好評を博し今や本邦唯一の輸出捺染として躍進的發展増加を示し昭和九年一月より商工省富山輸出紺綿物高岡支所を設置され其輸出先は遠く印度、南洋方面を主とし濠洲、海峡殖民地等で逐年產額を増加せり

六、高岡商工會議所

高岡商工會議所は明治二十八年十二月十三日筏井甚兵衛他十五名發起となつて高岡商業會議所の創立を申請し、同二十九年二月農商務大臣より定款其他の許可を得て、同年五月三十一日初めて議員三十名の選舉を行ひ茲に完全なる創立を見るに至つた

其後明治三十五年三月商業會議所法の發布あり、同三十六年十月に本市利屋町一番地現在土地を購入し、家屋を新築移轉し今日に及んだ、昭和三年一月一日商工會議所法の改正實施によつて、名を高岡商工會議所と改めた

歴代正副會頭の氏名左の通りである

當選年月	會頭	副會頭
明治二十九年七月	故菅野傳右衛門	故正村義太郎
三十一年四月	同	同
三十三年四月	故菅野傳右衛門	故正村義太郎
三十三年十月	同	同
三十四年六月	故木津太郎	故木津太郎
三十五年四月	平常吉	同

大正二年一月	故荒木能五郎	同
三十六年五月	同	同
三十八年一月	同	同
四十一年二月	同	同
四十二年二月	同	同
四十四年二月	同	同
四十五年十二月	同	同
四十六年一月	同	同
昭和四年一月	同	同
昭和四年一月	同	同
昭和八年一月	同	同
昭和十二年一月	同	同
昭和十三年十一月	同	同
昭和十六年一月	同	同
正萩布	故室荒木津井	同
正村宗	同間建	同
六之助	太郎	同
大助	郎	同
本石間	同同获荒木津井	同
黑茂常	野宗太郎	同
吉郎	建	同
三		同

又現在本所の顧問、議員及理事は次の通りである

(●印は重要商工業者代表者)

六

席次	業種	名	住所	電話番號	氏	
					姓	名
一	洋反物商	高岡市末廣町	白銀後町	四九九	大同捺染株式會社代表	七
二	漆器商、會社重役、市會議長	同	片原横町	四五九	増原長	馬
三	洋鐵商、會社重役	同	金屋町	五五五	武部半	平
四	鐵工機械業	同	横田町	五七九	藤田甚右衛門	太郎
五	銅器商	同	横田町	五六甲	木津清吉	太郎
六	海產物商、會社重役	同	旅籠町	三八七	高岡海產物株式會社代表	太郎
七	吳服太物商	同	木町	三一四	高島甚吉	吉郎
八	漆器商	同	中町	一二〇一	寺島上八	吉郎
九	鐵管織手業	同	下川原町	二四三甲	株式會社丸五織手製作所代表	作
十	米穀商	同	小馬出町	二二五七	本間常吉	吉郎
十一	化粧品小間物商	同	大野町	三九一	野崎勝太郎	吉郎
十二	メリヤス雜貨商、會社重役	同	定塚町	二四六七	寺島嘉吉	吉郎
十三	銀行、會社重役	同	横田町	二四六五	鳥居正村	太郎
十四	紙商、市會議員	同	木原町	二四三一	高橋六之助	吉郎
十五	板金業、會社重役	同	横田町	二四三一	丸五織手製作所代表	作

七

番	業種	所在地	電話番號	氏	姓	名
一六番	捺染業	高岡市末廣町	白銀後町	六一九	梶川伊八郎	七
一七番	漆器業	同	片原横町	八七四	大同捺染株式會社代表	馬
一八番	毛糸編物業	同	金屋町	八四七	増原長	七
一九番	鮮魚商、市會議員	同	横田町	六一七	高岡海產物株式會社代表	太郎
二〇番	石炭商	同	木原町	二二六二	武部半	平
二一番	酒類商	同	横田町	二一三	藤田甚右衛門	太郎
二二番	運送業	同	下川原町	二〇九	木津清吉	太郎
二三番	鐵工機械業	同	小馬出町	二〇一	高島甚吉	吉郎
二四番	織物商	同	大野町	一九七	寺島常吉	吉郎
二五番	藥種商	同	定塚町	一九七	鳥居正村	太郎
二六番	鐵工機械業	同	横田町	一九七	高橋六之助	吉郎
二七番	銅器商	同	木原町	一〇一四	丸五織手製作所代表	作
二八番	海產物商、會社重役	同	横田町	二〇一四	寺島嘉吉	吉郎
二九番	海產物商、會社重役	同	元町	二〇一四	鳥居正太郎	太郎
三〇番	板金業、會社重役	同	中川原町	二〇九九	高橋六之助	吉郎

●捺染、紡織業代表
●漆器製造業、同販賣業代表
●高岡合同運送株式會社代表

高岡石炭株式會社代表
北國銀行正村六之助
北國銀行正村六之助
高橋六之助

八七四	中田忠員	缺	中川原町	一九九九	北國銀行正村六之助	七
八四七	佐山杉正二郎	高岡合同運送株式會社代表	横田町	二一三	高橋六之助	
六一七	小山杉正二郎	北國石炭株式會社代表	元町	二〇九	北國石炭株式會社代表	

顧問	業種	名	住所	電話番號	氏名
一 番	賣藥業、銀行、會社重役	高岡市木舟町	三〇〇	一一三〇六七	菅野傳右衛門
二 番	市長、會社重役	同	末廣町	五〇〇	木津太郎
三 番	銀行、會社重役	同	源平町	一二六〇	荒井宗太
四 番	銀行、會社重役	同	中川原町	八三一	荻布捨造治
五 番	高岡高等商業學校長	同	大坪町	一一四〇六七	熊木誠治
六 番	日本曹達株式會社高岡アルミニウム工場長	同	中川町	一一三〇六七	木平治

職員	職員	職員	職員	職員	職員
理 同 同 同 同 同	副常議會頭	會常議會頭	副常議會頭	會常議會頭	副常議會頭
事 同 同 同 同 同	正本梶島木大中	正本梶島木大中	正本梶島木大中	正本梶島木大中	正本梶島木大中
車 同 同 同 同 同	村間田川勢寺村	村間田川勢寺村	村間田川勢寺村	村間田川勢寺村	村間田川勢寺村
理 同 同 同 同 同	六常之吉助郎	六常之吉助郎	六常之吉助郎	六常之吉助郎	六常之吉助郎
事 同 同 同 同 同	太次郎吉郎	太次郎吉郎	太次郎吉郎	太次郎吉郎	太次郎吉郎
車 同 同 同 同 同	太三郎吉郎	太三郎吉郎	太三郎吉郎	太三郎吉郎	太三郎吉郎
理 同 同 同 同 同	宇幸喜伊太郎	宇幸喜伊太郎	宇幸喜伊太郎	宇幸喜伊太郎	宇幸喜伊太郎
事 同 同 同 同 同	太常之吉郎	太常之吉郎	太常之吉郎	太常之吉郎	太常之吉郎
車 同 同 同 同 同	太八郎吉郎	太八郎吉郎	太八郎吉郎	太八郎吉郎	太八郎吉郎
理 同 同 同 同 同	太之助吉郎	太之助吉郎	太之助吉郎	太之助吉郎	太之助吉郎
事 同 同 同 同 同	太平治郎	太平治郎	太平治郎	太平治郎	太平治郎
車 同 同 同 同 同	太平治郎	太平治郎	太平治郎	太平治郎	太平治郎

高岡驛は北陸本線中の主要驛で、支線城端線、氷見線、新湊線を南北に分岐し、北は伏木港から氷見町又は新湊町に連絡し、南は礪波平野を縦断して城端町に到り、昭和四年十二月新設の越中中川驛、高岡驛と昭和十七年四月一日編入された伏木驛、吉久驛、能町驛、二塙驛とによつて旅客及貨物は吞吐せらる、本市を中心として周囲數里の間に介在する幾多の町村とは、近年乗合自動車の便開け實に四通八達の觀ある
加ふるに本市の西部を貫流する千保川は北に於て小矢部川と合し、古來伏木港と舟楫の便を有し貨物の上下運漕盛に利用せられ、本市の産業に資するところ頗る大なるものある

八、官衙、學校

本市に存在する官衙、學校の主なるもの次の通りである

高岡市役所
木支所
伏木片原横町

同同
野能村
出張所
九張所

野能村

町

九、名所、舊績

高岡公園（高岡驛ヨリ北四丁）

慶長十四年前田利長卿築城の舊城で、其面積七萬千二百六十一坪地勢高爽で老松古杉蒼鬱として茂り櫻樹其間を点綴し、環すに碧池を以てし園内眺望に富み、四時曳筇の客絶めることなく城趾公園として全國有數の一なりと稱せらる。

高岡城趾

俗に^{フルシロ}古城と稱し櫻馬場を通り抜け盡くるところから現在の高岡公園の地積一帯が即ちそれである、三百年前徳川の天下未だ定まらざる頃前田利長卿馬を關野の原頭に停め、居城の地を此處にトし古詩の「鳳凰鳴干彼高岡」に因んで關野を高岡と改められたもので、當時の櫓標、殿閣は廢毀せるも頃塙依然今に存し淡水深く丘上の老樹と共に慶長の昔を偲ばしむるに足る。

櫻馬場（高岡驛附近）

慶長の昔前田利長卿在城の時、騎射場として開設せし遺蹟で、兩側の長堤に櫻樹列なり幅員九間半、延長二百七十六間、老櫻三百餘株に及び、春風駘蕩の花季には香雲競舞をる花の隧道と化し、遠近より集る観客雜踏して皆花に醉はざるを得ない。

中國幣射水神社

高岡公園の入口昔の搦手から左折すること百數十歩、老樹鬱々松杉相交るところ神韻嚴かに鎮座せる社殿は、瓊々杵尊を祀れる國幣中社射水神社である、又一説には二上神即ち天牛羅雲命を祀り上古葦原中津國の水惡しき爲め天忍石の長井の

水を持ち降られた神で、射水は忌水の義なりとも云はる。

延喜の刻名神大社に列し、古は一に二上神と稱し元ニ上村に在つたが、明治八年今の地に移り越したもので、明治十四年一月大雪の爲に倒潰せしを同十五年五月之を再築し、同三十三年六月本市大火災に社殿類焼し、同三十五年八月現在の本殿、拜殿、神饌、社務所の四棟竣工し、大正四年十月神樂殿竣工せり、境内幽遠の氣に満ち賽者自ら櫻を正し崇敬禁ぜさらしむ。

縣社高岡關野神社（高岡驛ノ西北約三丁）

もと伊弉册祭を祀る關野神社と前田利長卿を祀る高岡神社とを大正八年九月合祀せられ縣社に列す、古來有名なる金碧燐爛たる山車を曳き廻るこの神社の大祭は毎年五月一日に之を行はる。

現在の社殿は明治三十三年六月の大火に焼失後大正七年六月に再築落成したもので、社宇宏壯にして神苑は老舊たる松杉を以て圍まる。

縣社氣多神社（伏木驛の西北約十三丁）

延喜式内社にして伏木一宮山上にあり大己貴命、奴奈加姫命の合殿として事代主命、菊理姫命を祀る、創建は天平年間とも養老二年とも稱せらる、明治六年縣社に列し本殿は昭和六年一月國寶に指定さる、寶物には弘法大師の筆と稱せらるゝ「一宮」の額等あり。

瑞龍寺（高岡驛の西南六丁）

明歴二年三代前田利次公が良材を蒐めて、支那臨安府經山萬壽寺の造法に擬して建設せられたもので、結構至らざる所なく、釋迦堂、法堂、總門は共に國寶建造物に指定せられ、候爵前田家代々の菩提寺であるが、昭和十年十月より昭和十三

年三月に亘り總工費八萬圓を投じ大修理を施され更に面目を「新せり」

繁久寺 前田利長卿ノ墓（高岡驛ノ東南五丁）

永錄年間射水郡南條城主加納中務の開基で、慶長年間氷見郡より移り來り、曹洞宗で前田利長卿の墓地を護らしめる寺院のすぐ傍にある利長卿墓は世嗣利常卿の建設せるもので、碑石聳然として高く利長卿の遺徳歴として千古に誇る所なく、拜者迫慕欽仰の念に堪へざらしむ、墓域を圍むに井然たる石柵を以てし、柵外四邊に池を繞らし大小數十の石燈籠を配し、其規模宏壯を極め加ふるに老樹參差稍を交へて幽趣掬すべきものある

國分寺趾（伏木驛ノ西北七丁）

聖武天皇の天平十三年（紀元一、四〇一年）諸國に國分寺及國分尼寺を建立せしめ天下太平を祈らしめ給ふ、即ち越中國府の所在地たる伏木に建立されたるも遺蹟不明にして伏木國分地内或は既に海水の浸蝕に依り海中に没したるものならんとの說ありしも、昭和十一年伏木一宮藥師堂境内より天平式蓮花紋巴瓦、同唐草絞瓦、細繩紋平瓦の破片多數發掘され、昭和十四年六月富山縣史蹟として指定さる、藥師堂には國分寺創建時代のものと推定さるゝ一本造りの天部像二体其の他古佛像多數安置せらる

勝興寺（伏木驛ノ西五丁）

山號を雲龍山と稱し眞宗本派の巨刹にして順德天皇の勅願所なり、順德帝佐渡に御在住の御砌承久三年（紀元一、八八年）親鸞上人の高弟正全房をして同地に一寺を建てしめ、殊勝誓願興行寺と稱し勅額を賜はる、善空房信念（順徳天皇第三皇子）を以て開基となし給ひたるが起因なり、其の後系統絶えたるも彌波の土山御坊をして同寺を再興なさしめ寺號を勝興寺と改稱す、現在の敷地は國府廳の趾にして天正十三年佐々成政この地を寄附し移轉したるものなり、本堂は二十からん

四間四方高さ百八十尺にして文化十四年連枝格に進む、寶物多し

恒性皇子御陵墓（高岡驛ノ西南二十五丁）

高岡驛から城端線にて次驛二塚驛で降るれば僅かにして御陵に達する、後醍醐帝第十六皇子恒性の宮、北條高時の爲めこの地に幽閉され給ひ、間もなく元弘三年名越遠江守時有の爲に弑せられ給ふた遺蹟で、近年宮内省にて御陵墓と決定し大に墓地を補修せられた、祠前に拜跪し蒼涼萬古吉野朝四十年悲哀の史蹟を追想するとき、誰か萬斛の涙を禁ぜざるものなからん

大佛（高岡驛ノ北三丁）

定塚町に在り延享二年淨上宗極樂寺の徒弟始めて建立し、金色燐たる三丈二尺の座像であつたが、明治三十三年本市の大火で惜しくも類焼し、其後銅像にし再建を計り昭和八年五月漸く其竣工を告げ、形想端嚴自ら懸懷に抱かるゝ壯觀を見るに至れり、尊像高さ二丈四尺五寸、蓮花高一丈、臺座高一丈、合計高四丈四尺五寸である

二上山

市の西北一里氷見郡の境にあつて、高千六百尺、東西二峰あつて東を二上御前、西を獅子ヶ面又は袴越といふ、山高からずと雖ども山脚近く有礎海に接し、遠山近海の眺望一眸の裡に納め景致頗る絶佳である
守山城趾は其西峰袴越で、正平年間越中守護斯波義將此に據り、天正年間には神保安藝守氏張の居城で後前田利長卿の有に歸したるものである

御車山（鉢車）

御車山とは所謂鉢車ダシで通稱之を曳山ヒキヤマと稱し、慶長年間前田利長卿在城の當時市内七ヶ町に一臺宛附與せられたもの。爾來三百有餘年連綿として今日に至るまで、毎年五月一日高岡關野神社の大祭には鼓笙鳴喚市内を曳き廻り、七臺共各多少其の構造を異にすれども、金玉の象嵌、描金、彫刻精致を極め、何れも名工の手になり殆んど桃山時代美術の精華を以て裝られ、當日は遠近の男女老幼群集し來り、市内の雜踏甚だしく北陸三縣中隨一の盛況を呈するを例とす。

七夕祭

本市の七夕祭は五月大祭の曳山と共に、獨特の年中行事の一に數へらるもので、毎年七月六日から七日に亘り男子ある家々の軒端に高く笹竹を立て、其大なるものは高さ數間に達し數百の紅提灯を結付け、二重三重に意匠を凝した方間大の行燈を掲げ、所謂支那の故事織女昔の祭をなすもので、夜間遠く之を望めば道路兩側から竹は高く天に於て交錯相摩し紅蓮の紅橋正に天を焦さんとする觀ある、七日の夜は數十人の勢子達竹を擔つぎ、普頭手拍子勇しく市中を練りつゝ千保川橋上から竹を河中へ投げる壯觀は深更まで續くのである、明治三十三年の大火後は一時頽れ現今では再び往時の盛況を見るることは得ないが、猶本市名物の一として幾分其面影を存してゐる。

諸統計 附會社組合一覽

戸口

年次	戸数	男現住人	女人口	戸
				戸数
昭和二十一年	八、五三	四、七七	三、七七	一、〇九四戸
昭和二十一年	三、五二	二、八二	二、七七	二、〇四戸
昭和二十一年	一、三九五	二、八四	二、七五	一、三九三戸
昭和二十一年	一、二五八	一、一五七	一、一五七	一、二五三戸
昭和二十一年	一、二九六	一、一五七	一、一五七	一、二九三戸

職業別戸數人口

(昭和十五年)

區別	戸数	男人口		女人口		計
		男	女	男	女	
農業	一、〇九四	四、九三	三、六三	二、三三	一、二四	八、三〇
工業	二、〇四	二、九三	一、三三	一、二四	一、一四	八、二六
商業	一、三九三	一、二五三	一、二五三	一、二五三	一、一五七	三、五二
其他	一、二九三	一、二九三	一、二九三	一、二九三	一、一五七	三、五二

合無家其公交商
事使ノ有自用業
計業者業通業人

二、五三一
三、三四二

三、四〇七
一、四三〇

二、一五七
三、一〇五〇

三、一五七〇
六〇、八八四

八、三三三
一、〇五八
一、一九四
五三七

一、一八一、四一九
二、九四、九七八
三、九四、五〇七
一、九四、〇一四
二、五八、四〇二
一、八、四四〇
二、一〇九九、一六六
一、二五、三二二
七六、八四〇
四七、一三〇
三〇、九三一、六五五
一、五五五、四八八
一、五六五、七二三
一、七二、九三一
二、一〇七、二六四
二、三三六、八九二
二、一九九、一五七
九、六〇〇、〇〇〇
九、五六一、二二三
一、四三一、一〇三
一、四〇五、一二二
一、二八三、二五九
一、七六三、二一八
一、三、二二七、二〇九
一、二、三九〇、九九九
七、二三九〇、九九九
一、二、七四、九四九
七、三三〇、八六〇
三、七三三、八三二

八、三三三
一、〇五八
一、一九四
五三七

三、八六七
二、三三四
二、六四〇
一、一九四
一、三九八

一、一八一、四一九
二、九四、九七八
三、九四、五〇七
一、九四、〇一四
二、五八、四〇二
一、八、四四〇
二、一〇九九、一六六
一、二五、三二二
七六、八四〇
四七、一三〇
三〇、九三一、六五五
一、五五五、四八八
一、五六五、七二三
一、七二、九三一
二、一〇七、二六四
二、三三六、八九二
二、一九九、一五七
九、六〇〇、〇〇〇
九、五六一、二二三
一、四三一、一〇三
一、四〇五、一二二
一、二八三、二五九
一、七六三、二一八
一、三、二二七、二〇九
一、二、三九〇、九九九
七、二三九〇、九九九
一、二、七四、九四九
七、三三〇、八六〇
三、七三三、八三二

貸證付書
同 同 同 昭和十六年
同 同 同 昭和十五年
同 同 同 十三年
同 同 同 十二年
同 同 同 十四年
同 同 同 十五年
同 同 同 十六年
同 同 同 十七年
同 同 同 十八年
同 同 同 十九年
同 同 同 岩年
同 同 同 岩年
同 同 同 岩年

預金
同 同 同 昭和十六年
同 同 同 十四年
同 同 同 十三年
同 同 同 十二年
同 同 同 十一年
同 同 同 十年
同 同 同 九年
同 同 同 八年
同 同 同 七年
同 同 同 六年
同 同 同 五年
同 同 同 四年
同 同 同 三年
同 同 同 二年
同 同 同 一年
同 同 同 岩年
同 同 同 岩年
同 同 同 岩年

取扱戻立返済
二、五二、三〇一、二五五
一九九、九八八、九五一
一六五、五五八、五四八
一五〇、四七八、八二〇
二三六、一四六、一四三
一、〇九九、一六六
二、五二、三二二
七六、八四〇
四七、一三〇
三〇、九三一、六五五
一、五五五、四八八
一、五六五、七二三
一、七二、九三一
二、一〇七、二六四
二、三三六、八九二
二、一九九、一五七
九、六〇〇、〇〇〇
九、五六一、二二三
一、四三一、一〇三
一、四〇五、一二二
一、二八三、二五九
一、七六三、二一八
一、三、二二七、二〇九
一、二、三九〇、九九九
七、二三九〇、九九九
一、二、七四、九四九
七、三三〇、八六〇
三、七三三、八三二

年末現在高
三、二、九四九、五七八
二、四、四〇五、二五二
二、一、四五五、二一八
一、八、五四九、〇三四
一、八、五四九、〇三四
一、四、五八七、四四〇
三、九四、五〇七
一、九四、〇一四
二、五八、四〇二
一、八、四四〇
二、九四、九七八
一、一八一、四一九
二、九四、九七八
三、九四、五〇七
一、九四、〇一四
二、五八、四〇二
一、八、四四〇
二、一〇九九、一六六
一、二五、三二二
七六、八四〇
四七、一三〇
三〇、九三一、六五五
一、五五五、四八八
一、五六五、七二三
一、七二、九三一
二、一〇七、二六四
二、三三六、八九二
二、一九九、一五七
九、六〇〇、〇〇〇
九、五六一、二二三
一、四三一、一〇三
一、四〇五、一二二
一、二八三、二五九
一、七六三、二一八
一、三、二二七、二〇九
一、二、三九〇、九九九
七、二三九〇、九九九
一、二、七四、九四九
七、三三〇、八六〇
三、七三三、八三二

支拂取立高
四、七、二七〇、七三三
五〇、七三三、四四二
三九、八〇四、八九六
三二、五〇五、二五〇
二、三六、一四六、一四三
一、一〇九九、一六六
一、二五、三二二
七六、八四〇
四七、一三〇
三〇、九三一、六五五
一、五五五、四八八
一、五六五、七二三
一、七二、九三一
二、一〇七、二六四
二、三三六、八九二
二、一九九、一五七
九、六〇〇、〇〇〇
九、五六一、二二三
一、四三一、一〇三
一、四〇五、一二二
一、二八三、二五九
一、七六三、二一八
一、三、二二七、二〇九
一、二、三九〇、九九九
七、二三九〇、九九九
一、二、七四、九四九
七、三三〇、八六〇
三、七三三、八三二

手爲替 形	手割形 引	貨手附形	貨當越座	年	年
同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	次	次
二〇〇、九七〇、〇八九 五二、六八五、三三五	一、一〇九、一九九、一八二 六一、八二八、五三八	四、七、二七〇、七三三 六一、〇九〇、七四六	一、一〇九、一九九、一八八 五二、九三一、六五三	取組高 支拂取立高	支拂取立高 取組高
二〇三、一九六、一九三 九八、三九一、九二七	一、一〇九、一九九、一八六 六一、〇四三、七六〇	四、七、二七〇、七三三 六一、〇九〇、七四六	一、一〇九、一九九、一八八 五二、九三一、六五三	年	次
手荷爲替 形	手荷爲替 形	手荷爲替 形	手荷爲替 形	年	年
同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	同 同 同 昭和十六年 同 同 同 岩年	次	次
三、二三三、〇三二 六、五五九、五八一	三、三七一、七五三 六、九五八、三九五	三、六九三、二四四 一、三、二六八、三八三	二、三三六、八九二 二、一九九、一五七	取組高 支拂取立高	支拂取立高 取組高
六、五二、八三二 一、二、七三三、八三二	一、一〇九、一九九、一八六〇 七、三三〇、八六〇	一、一〇九、一九九、一八六 一、二、三九〇、九九九	二、一九九、一五七 一、七六三、二一八	年	次

手形交換高

一一〇

昭和十一年度		昭和十二年度		昭和十三年度		昭和十四年度		昭和十五年度		昭和十六年度	
年次	金額	年次	金額	年次	金額	年次	金額	年次	金額	年次	金額
同十五年度	五九、〇九六、九四一	同十六年度	五二、三二、八七九	同十七年度	四四、四〇五、〇一九	同十八年度	三三、三四一、九二〇	同十九年度	三六、四三七、九〇四	同二十年度	五九、〇九六、九一七

富山縣農產物検査所高岡支所

年次	生産量			不	合	格	米(甲、乙、丙、丁)
	昭和十五年度	昭和十六年度	昭和十七年度				
一等	一六、六六六	二五、八四一	二五、八四一				
二等	一五、三八四	二六、七〇七	二六、七〇七				
三等	一六、六六六	三一、八五七	三一、八五七				
四等	一六、六六六	三九〇	三九〇				
其他	一六、六六六	一九、一九一	一九、一九一				
等外	一六、六六六	三八〇	三八〇				
計	一六、六六六	三九六、三六三	三九六、三六三	二九九、六七七	二九九、六七七	二九九、六七七	二九九、六七七

移出量	昭和十一年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度
同十五年度	一、九六九、九二四	一、九六九、九二四	一、九六九、九二四	一、九六九、九二四	一、九六九、九二四	一、九六九、九二四

通 信

種類	昭和十一年度	昭和十二年度	昭和十三年度	昭和十四年度	昭和十五年度	昭和十六年度
高級取物便郵	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
替爲便郵	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
金貯便郵	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
達配受引	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
小特口拂	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
小特口振	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
口拂	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
預入	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
渡出	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
渡入	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
包殊數高	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一
殊數高	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一	一、四六六、六七一

物 價

大輸玄品	
出出白玄	
麥米米米	名
四同三丙等	銘
墻玉等	柄
同同同一	單
	位
四〇、空	石
一、一、一	昭和十六年
九、〇、〇	昭和十五年
八、七、三	昭和十四年
七、八、一	昭和十三年
六、三、二	昭和十二年

話電中高級取報電	
外市國外國內	
受呼料發繼盾料發盾料發	
出信料金信信金信信金信	
四九、四〇、一、一、一、一	二、一、八、一、一、一
四四、五〇、一、一、一、一	二七、五〇、一、一、一、一
四四、五〇、一、一、一、一	二八、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	三二、二、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	三一、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	三〇、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二九、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二八、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二七、五〇、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二六、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二五、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二四、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二三、一、一、一、一、一
三四、三、一、一、一、一	二二、一、一、一、一、一

稅 縣											稅 國												
計	都	藝	狩	不	電	自	營	家	雜	營	取	營	所	特	地	營	通	酒	建	配	當	利	資
市	計	獵	動	業	引	業	收	得	租	別	附	附	附	附	附	類	營	通	酒	建	配	當	利
計	畫	產	柱	動	稅	屋	種	業	稅	稅	附	附	附	附	附	業	行	倉	築	子	利	資	
特	妓	取	車	稅	稅	業	稅	稅	稅	稅	地	加	加	加	加	業	行	倉	築	子	利	資	
別	者	得	加	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	加	加	加	加	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	資	
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	資	
二四八、六八		二一、三九八	二一、三九八	二五	五、五〇三	三、八二六	三元、八一五									二七、四八	二二八、四九	八三、五七〇	五一、三四七	一七、四八			
二〇、九二		二一、六二三	二五																				
一八七、一八五		三、九八三	三、九八四	四、二〇〇	五、七〇一	六〇、一六六	三五、一〇四	二一、四〇一	三、四〇一	一、八、五〇六						二、四六一、八四	五二、九四八	八〇、二九三	一、〇〇〇	九六			
二六五、〇九六		一、二九四																					
二六七、〇四四		一、四〇六																					
二四六、六三三		一、〇四六																					

稅 國																					
法	綜	分	遊	物	入	利	砂	有	揮	外	鑄	法	臨	相	織	取	清	特	酒	酒	營
合	類	興	益	糖	價	貨	人	時	物	涼	別	類	業	本	利	資					
人	所	所	飲	品	證	發	債	利	續	消	飲	法	造	收	子	石	益				
得	得	食	當	券	特	移	油	業	消	料	人	得	費	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅
三七五、二二二	四五〇、三七七	一七九、九八四	一四六、八三八	三四、〇三九	一、五八五	四、六三二	七三、三六八	一七、〇三六	八一、三三三	六七、二〇七	八、五四九	四、九二〇	二三三、三二一	二七、九五三	一、七五三	二八	一〇八、二六	九一、五三三	二、〇三九	一、五三五	二一、五九五
三二五、〇七六	四一九、五四〇	二一八、五〇三	二五、六七八																		
二二二、四四二	三二四、一〇四																				
二一、二三三																					
一、〇三三																					

株式会社一覽

(昭和十七年九月十日現在)

株式會社

業種欄内中製ハ「製造」、販ハ「販賣」、
委ハ「委託販賣」、問ハ「問屋業」、賣ハ
「賣買」、羅ハ「羅賣」ノ略

商號	業種	所在地	年設立月	總資本額		代表者氏名
				拂金額	年利	
株式會社高岡銀行	銀行業	守山町	大正九・六二二、六三、五〇〇	九、五三、二五〇	年	高廣次之助
日本海無盡株式會社	無盡業	坂下町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	年	正村六郎
中越土木株式會社	土木建築請負	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	年	幸八郎
高岡砂糖株式會社	砂糖麥粉、賣	坂下町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	年	坂田純一郎
北一株式會社	綿糸布麻糸布疋表石油販	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	頭取常務
株式會社グリーンホール	棚貸、食堂	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	正村六之助
株式會社松谷商店	米穀、肥料、海產物、賣	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	大寺幸平
橋商事株式會社	委、代辦、有價證券賣	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	佐太郎
株式會社小杉商店	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	室崎佐太郎
株式會社伏木魚菜市場	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	油谷彌平
株式會社吉久土地	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	平井正治
株式會社新興產業	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	吉野友吉
株式會社北陸水產	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	松谷友吉
株式會社越井商事	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社關海產物	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社中越塗業	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社北陸銑鐵	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社富染商事	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社春野商事	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社富山石油配給	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直
株式會社北日本布帛	有價證券所有	守山町	昭和二五・三一五〇、〇〇〇	三五、〇〇〇	年	同治直

株式會社高岡藥房	調剤、工業藥品、醫用品	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社濱谷商店	化粧品、食料品販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社北陸販賣	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社新興產業	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社越井商事	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社吉久土地	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社關海產物	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社中越塗業	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社北陸銑鐵	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社富染商事	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社春野商事	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社富山石油配給	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助
株式會社北日本布帛	米雜穀肥料、荒物販	末廣町	大正九・六二二、六三、五〇〇	年	高廣次之助

運業

合名會社

工業		商業		業種	所在地	年設立月	資本金	代表者氏名
同	同	同	同					
井波合名會社	新毛斯友禪捺染加工、販	器械製、工事請負、金錢貸付	耐火煉瓦、コーキス賣、委	倉庫、代辦 清涼飲食水製	米見合名會社 合名會社共同商會	昭和三、六年七月	三〇,〇〇〇	吉作
合名會社松村工務所	諸機械、建築、船舶發動機、鑄物、 砲金鑄造、鐵工業	酒製、販	和洋傘、荒物雜貨、家用原料販	寫眞臺紙、寫眞帳製、販、委	同泉八右衛門商店 合名會社大瀧商店	昭和五、四年九月	六,〇〇〇	吉作
不老合名會社	合名會社共同商會	新毛スチール工場	耐火煉瓦、コーキス賣、委	海陸產物販、委、運送、倉庫	荻布合名會社 合名會社富秀商店	昭和五、四年九月	七,〇〇〇	吉作
合名會社長柄鑄工所	合名會社松村工務所	新毛スチール工場	器械製、工事請負、金錢貸付	寫眞臺紙、寫眞帳製、販、委	三和工材 合名會社富秀商店	昭和五、四年九月	六,〇〇〇	吉作
熊谷鑄業合名會社	鑄山鑄業	新毛スチール工場	耐火煉瓦、コーキス賣、委	海陸產物販、委、運送、倉庫	同泉八右衛門商店 合名會社大瀧商店	昭和五、四年九月	五,〇〇〇	吉作

四一

工業		商業		業種	所在地	年設立月	資本金	代表者氏名
同	同	同	同					
同棚田瓦工場	同能見鍛工所	同能松木工所	同三共製作所	瓦製造、家屋貸借 鐵工機器具ノ製、販、鍛工 建築材料、製材製、賣、仲介 警防器具製	高岡度辰合資會社 富山織物合資會社 日本板金工業合資會社 同能松木工所	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎
高岡品川商會	同蒲田染物店	洋家具製	染物委	織物格外品、フェンツ織物販 板金細工、金物製、販、銅器製	高岡度辰合資會社 富山織物合資會社 日本板金工業合資會社 同三共製作所	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎
高岡度辰合資會社	同京田商店	同棚田瓦工場	洋家具製	不動產ノ賣貸貨 各種食料品荷造材料工業用品及原 料拂下ノ請	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
合資會社福生商會	同高岡品川商會	同能見鍛工所	洋家具製	自動車、自動車用品工具販	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
日本板金工業合資會社	同高岡品川商會	同能見鍛工所	洋家具製	織物格外品、フェンツ織物販	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
同能松木工所	同蒲田染物店	同能見鍛工所	染物委	板金細工、金物製、販、銅器製	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
同高岡品川商會	同京田商店	同高岡品川商會	染物委	織物格外品、フェンツ織物販	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
高岡度辰合資會社	同棚田瓦工場	同能見鍛工所	染物委	板金細工、金物製、販、銅器製	昭和五、六年六月	二,〇〇〇	吉喜一郎	
昭和合資會社	昭和合資會社	昭和合資會社	昭和合資會社	輪業、金物、硝子 酒、醬油、味噌販	昭和中島町	昭和二、三年二月	吉喜一郎	
合資會社三共商會	合資會社三共商會	合資會社三共商會	合資會社三共商會	米穀、薪炭販	昭和中島町	昭和二、三年二月	吉喜一郎	
昭和合資會社	昭和合資會社	昭和合資會社	昭和合資會社	輪業、金物、硝子 酒、醬油、味噌販	昭和中島町	昭和二、三年二月	吉喜一郎	

四〇

業	有限公司高岡古城工場	同	九三生菓工場	同	高岡鐵造工場	同	高岡製菓工場	同	高岡製菓有限公司
運	共榮製菓有限公司	同	三友生菓工場	同	牡陸和製菓工場	同	同	同	同
業	帆船港機有限公司	同	伏木製菓工場	同	高岡驛賣製菓工場	同	大門製菓工場	同	高岡製菓有限公司
運	同共立自動車商會	同	伏木製菓工場	同	同	同	同	同	同
業	帆船港機有限公司	同	海運業、運送仲介	同	同	同	同	同	同
運	高岡交通有限公司	同	貨物運送	同	同	同	同	同	同
業	帆船港機有限公司	同	旅客運送	同	同	同	同	同	同
運	帆船港機有限公司	同	海運業、運送仲介	同	同	同	同	同	同
業	帆船港機有限公司	同	機械器具修理、加工	同	同	同	同	同	同
運	帆船港機有限公司	同	菓子製	同	同	同	同	同	同

支店

商號	所在地	所在地	設置年月	總資本額	拂込金額	支店代表者氏名
株式會社十二銀行支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二八年一月	三,000,000	二,三六六,000	前藤高寺南北廣
日清紡績株式會社高岡工場	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年二月	二,三七五,000	二,三三六,000	荒井韶治
株式會社中越銀行支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年三月	二,三七五,000	二,三三六,000	佐藤野友次
同不動貯蓄銀行支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年四月	二,三七五,000	二,三三六,000	佐藤浪次
同金澤貯蓄銀行支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年五月	二,三七五,000	二,三三六,000	佐藤勝郎
同富山合同貯蓄銀行支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年六月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田仁三郎
日本曹達高岡アルミ工場	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年七月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田正武
北陸信託株式會社高岡支店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年八月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田誠四郎
株式會社丸越高岡店	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年九月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田治郎
聯合紙器株式會社北高岡工場	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年十月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田治郎
鐘淵紡績株式會社高岡工場	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年十一月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田治郎
北陸配電株式會社高岡工場	同富山銀行支店	同富山銀行支店	昭二九年十二月	二,三七五,000	二,三三六,000	吉田治郎
同	同	同	同	同	同	同

商工業團體

四六

富山縣工業會高岡部會	名稱
高岡市農會	稱
櫻馬場	所在地
工商會議所	市役所內
三〇〇	會員數
み金	名
富山縣商業報國會高岡支部	稱
古國府横田	工作地
櫻馬場	事務所
二、八七	電話
二、八九	會
同試驗場富山縣工業	所在地
四〇四	會員數

高岡米穀小賣	名稱
櫻谷	年認可
一〇〇〇〇	月
二、八六	員組數
一〇〇〇〇	合
一〇〇〇〇	出資總額
一〇〇〇〇	出資込額
一〇〇〇〇	事務所
一〇〇〇〇	電話
一〇〇〇〇	會
一〇〇〇〇	所在地

富山縣足袋	名稱
高岡米穀小賣	稱
高岡米穀小賣	年認可
高岡米穀小賣	月
高岡米穀小賣	員組數
高岡米穀小賣	合
高岡米穀小賣	出資總額
高岡米穀小賣	出資込額
高岡米穀小賣	事務所
高岡米穀小賣	電話
高岡米穀小賣	會
高岡米穀小賣	所在地

四七

工業組合

五〇

29 高岡コンクリート製品	28 高岡機械木型	27 高岡機械木型	26 高岡機械木型	25 高岡機械木型	24 高岡機械木型	23 富山縣特許申請	22 富山縣特許申請	21 富山縣特許申請	20 高岡洋角縣	19 富山縣特許申請	18 高岡洋角縣	17 富山縣特許申請	16 高岡洋角縣	15 富山縣特許申請	14 高岡洋角縣		
一、五、八 四、四、四	一、五、三 四、三、三	一、五、四 四、九、九	一、五、四 四、九、九	一、四、三 四、九、九	一、四、三 四、九、九	一、四、六 四、六、六	一、四、五 四、五、五	一、三、三 三、三、三	一、四、三 三、三、三	一、四、三 三、三、三	一、四、三 三、三、三	一、三、二 三、三、三	一、三、二 三、三、三	一、三、一 二、二、二	一、三、一 二、二、二		
三九	三九	三六	三五	三五	三三	三四	三六	三七	三四	四七	五四	三五	三五	三五	三九	三九	
四、〇〇〇	四、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	四、〇〇〇	七、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	四、〇〇〇	三、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	二、〇〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇	五、〇〇〇	四、〇〇〇	
一、〇〇〇	一、〇〇〇	八、〇〇〇	五、〇七五	一、〇〇〇	三、七五	二、〇〇〇	一、〇七五	二六五	一、〇〇〇	一、〇〇〇							
堀上町	金屋町	上川組町	中川町	末廣町	同川町	金屋町	塩倉町	横田町	鴨鳥町	下川原町	定塚町	清水町	横田町	金田町	博勞町	金屋町	
五一	八三甲	二八七	二二〇	一七八	一七七	一一七	二〇二	三四四	三四四	二三九	二三九	二八四	二三九	二三九	三四三	三四三	
小谷	頭藤	小高	稻平	米和	南山	荒野	喜多	中川	南山	和泉	庄清	直友	三次	三郎	造郎	中島	鳥津
竹口	川田	島見	垣能	倉外	庄喜	久太	次友	外友	庄喜	久太	三次	次吉	三次	三郎	造郎	松井	杉森
與八	庄善	榮次	德清	四清	太友	四太	次友	外友	庄喜	久太	三次	次吉	三次	三郎	造郎	佐治	佐平
郎	藏平	郎次	平郎	郎吉	門衛右	佐治											

名稱	年認可員組數合	出資總額	拂資込額	所事務地所	電事務所	理事長名
1 富山岡山縣工場	昭和九、八	三、七	三、六	中川坂下町	中川坂下町	坂下町
2 富山岡山縣工場	三、八	五、〇〇〇	二、九、五	古國府町	古國府町	古國府町
3 富山岡山縣工場	三、七	五、〇〇〇	二、八、二	中河原町	中河原町	河原町
4 富山岡山縣工場	三、八	五、〇〇〇	二、七、五	守門町	守門町	守門町
5 富山岡山縣工場	三、七	五、〇〇〇	二、七、五	横濱町	横濱町	横濱町
6 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	中守町	中守町	守町
7 富山岡山縣工場	三、二	三、〇〇〇	二、七、五	守門町	守門町	守門町
8 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	横濱町	横濱町	横濱町
9 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	中守町	中守町	守町
10 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	守門町	守門町	守門町
11 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	横濱町	横濱町	横濱町
12 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	中守町	中守町	守町
13 富山岡山縣工場	三、三	三、〇〇〇	二、七、五	守門町	守門町	守門町

準則組合

五五

1 高岡獨染器同業	名稱
2 有責任高岡信用下關購買販賣利用	名稱
3 同業	稱
4 責任高岡漆器信用購買販賣	稱

同業組合

1 富山縣濱粉麵	名稱
2 ヴワ鋼材刻印	稱
3 下關購買販賣利用	稱
4 高岡木竹器	稱

産業組合

1 富山縣濱粉麵	名稱
2 高岡木竹器	稱
3 下關購買販賣利用	稱
4 高岡木竹器	稱

1 富山縣濱粉麵	名稱
2 高岡木竹器	稱
3 下關購買販賣利用	稱
4 高岡木竹器	稱
5 同業	稱
6 同業	稱
7 同業	稱
8 同業	稱
9 同業	稱
10 同業	稱
11 同業	稱
12 同業	稱
13 同業	稱
14 同業	稱
15 同業	稱
16 同業	稱
17 同業	稱
18 同業	稱
19 同業	稱
20 同業	稱
21 同業	稱
22 同業	稱
23 同業	稱
24 同業	稱
25 同業	稱
26 同業	稱
27 同業	稱
28 同業	稱
29 同業	稱

五四

申合組合

名 稱	所事 務地	代理 者	員數 組合	名 稱	所事 務地	代理 者	員數 組合
1 富山縣建築協會 高岡支部	利屋町	木舟町	二六	1 高岡雜貨五業卸商組合	坂下町	谷道岩治郎	三
2 高岡市藥品組合	棚田喜作	小柴榮藏	二三	12 高莫大小卸配給商組合	平治津田	儀八郎	三
3 高岡公設市場組合	同	發田儀作	一二	13 高射酒造組合	繩手町	慶介	六
4 高岡有價證券業組合	片原町	在田甚吉	二二	14 高岡輸出工業會	櫻馬場	岩治郎	三
5 高岡裏地染組合	同	堀友吉	一二	15 高岡線材加工組合	旅籠町	朝山甚吉	三
6 高岡市陶磁器商組合	宮脇町	平能喜太郎	二一	16 高岡口一ソク組合	新横町	耕太郎	三
7 高岡市塗裝看板組合	下關	立野與三松	二二	17 高岡蒲燒業組合	末廣町	小馬出	二
8 高岡衣服組合	三番町	戈云	二二	18 高岡露商店組合	坂下町	坂下町	二
9 富山縣醬油 味噌工業組合 高岡支部	塙倉町	島崎退助	二一	19 高岡海產物商組合	源平町	定塚金次	二
10 高岡塗小賣人組合	平米町	平能喜太郎	二	20 富山縣學校服卸配給組合	片原橫町	篠原耕太郎	一
					塙倉町	龍太郎	一
						高岡	高岡

36 富山縣製造工品組合	35 高岡料理業組合	34 高岡精進料理業組合	33 高岡旅館業組合	32 高岡喫茶店組合	31 高岡紙業組合 エキス製造組合	30 富山縣金物卸商組合	29 富山縣雜織維加工組合	28 富山縣吳西桶業組合	27 富山縣神棚業組合	26 高岡特殊飲食業組合	25 高陵西洋料理業組合	24 富山縣折箱業組合	23 富山縣織物業組合	22 高岡賄業組合	21 高仙者漬物製造業組合
下川原町	坂下町	下關	鴨鳥町	片原町	御旋屋町	末廣町	内免町	宮脇町	繩手町	片原町	源平町	同	二丁町	二丁町	新横町
川原 與三	塙 谷	毛利 喜一	葉子井 藤作	萩下 米太郎	杉本喜右衛門	久々江 小平	烟 博	津幡文造	增山良太郎	高橋文太郎	金井助太郎	関貞二	増山貞二	高塙庄太郎	岡本源藏
二元	三	五	八	二	六	九	四	八	八	四	八	八	三	三	三
52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37
高射製麺業組合	高岡周旋營業組合	高岡銀器業組合	高岡看護婦會	高岡理髮業組合	高岡女髮結組合	高岡市醫師會	高岡鍼灸按摩業組合	高岡米穀市場員組合	高岡質屋營業組合	高岡械物組合	高岡浴場營業組合	高岡鍼灸按摩業組合	高岡鐵灸按摩業組合	高岡眼鏡商組合	高岡鐵灸按摩業組合
片原町	二丁町	坂下町	末廣町	御旅屋町	小馬出町	下川原町	同	油町	源平町	大坪町	坂下町	小馬出町	末廣町	本田宗平	本田宗平
久々江 小平	守越己之次郎	中田忠七	本間可祝	山下長造	紺谷政次	田中庄藏	烏田喜太郎	楳井吉平	松村誠吉	大坪町	油町	坂下町	源平町	宗平	宗平
三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九

425
280

昭和十七年九月十八日印刷
昭和十七年九月廿二日發行
(非賣品)

發行所 高岡市利屋町一番地

高岡市利屋町三番地

印刷者 高岡商工會議所

高岡市利屋町三番地

印刷所(中富矢)小間印刷所

高岡市利屋町三番地

終